

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	33122	電話	042-769-8249
担当部課名	都市部	都市交通計画	課	交通計画 班
事務事業名	相模原・町田広域交通計画連絡調整会議等負担金			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	利便性の高い公共交通網の確立をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	利便性の高い公共交通網の確立	63以前年度
施策名	第2施策	利便性の高い公共交通網の整備	

## 2 実施根拠及び関連法令等

--	--	--	--	--

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
相模原市と町田市とで組織する「相模原・町田広域交通計画連絡調整会議」を通じ、両市にまたがる広域的な交通課題について解決を図る。特に、現在唐木田駅どまりとなっている小田急多摩線の横浜線、相模線方面への延伸について、重点課題としてとりあげ、実現化を図る。また、小田急多摩線延伸促進協議会の活動を支援し、小田急多摩線延伸の早期実現化を図る。		相模原・町田広域交通計画連絡調整会議 小田急多摩線延伸促進協議会	
		対象数	2
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
「相模原・町田広域交通計画連絡調整会議」開催 「小田急多摩線延伸計画研究会」開催 需要予測にかかる新たな手法(GRAPE)に関する情報収集 広域交通の検討にかかる資料(地図)作成作業 小田急多摩線延伸促進協議会の設立、運営			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	小田急電鉄を交えた会議、打合せ等の回数	小田急電鉄を交えた会議、打合せの等回数	事業の大きな鍵となる小田急電鉄を交えた会議、打合せ等の回数をもって、成果の指標とする	2	2	2	3	3
	両組織の運営にかかる会議等の延開催回数	両組織の運営にかかる会議等の延開催回数	両組織の運営にかかる会議等の延開催回数をもって、活動状況の指標とする	8	12	12	15	15

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	0.2人・年	0.2人・年	0.3人・年	0.3人・年	0.3人・年
	人件費	1,678	1,678	2,517	2,517	2,517
	その他経費					
	合計	1,878	1,878	2,817	2,817	2,617
	特定財源					
	対象数	1	1	2	2	2
	対象の単位あたり経費	1,878.0	1,878.0	1,408.5	1,408.5	1,308.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
		説明				
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている			
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している			
	C：適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない			
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある			
(3)有効性 評価 B ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である			
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている			
	C：有効ではない					
		説明				
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている			
	B：一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている			
	C：改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている			
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない			
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である			
	B：一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である			
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)			
		説明				
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額			
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 平成11年度に実施した調査では、事業採算性に課題が残る結果となったが、その後、他の事例で新たな事業手法が採用されるなど、当時は想定されなかった変化が見られることから、研究の余地がある。		手段	相模原・町田広域交通計画連絡調整会議負担金の廃止		
			削減額	200 千円		

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 事業自体は継続するが、事業費低減化のため平成16年度以降は「相模原・町田広域交通計画連絡調整会議」に対する負担金を廃止することで、事業の効率を高める。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

団体を組織しない形での事業実施を検討すること
------------------------